

# URA定着に向け、私達はどのようなURAを目指すか

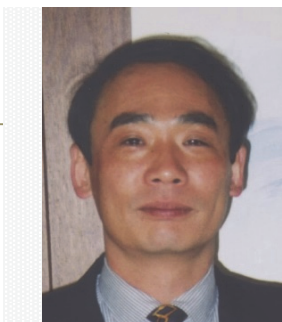
8月29日 (火) 13:30-15:00 会場H (3階)

URAに関しては、「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備事業」などを通して育成と定着が進められてきた。当初は、研究資金の調達・管理、知財の管理・活用などを行うマネジメント人材不足の改善が目的であった。「研究大学強化促進事業」からは、研究者とともに研究活動の企画・マネジメント、研究成果活用促進を行うことにより、研究者の研究活動の活性化や研究開発マネジメントの強化などを支える業務に従事する人材がURAと定義された。

大学でURAを定着させるためには、テニュア化、業務に相応しい給与、組織でのURA業務の方向性と明確化、ロールモデルの存在など、さまざまなことが関係している。一方で、URAのあるべき理想像が、大学組織、執行部や学内組織、ひいては研究者それぞれで異なっており、非常に幅広い業務内容がURA自体をわかりづらくしているのも事実である。したがって、自己の目標設定やスキルアップ・キャリアアップに不安を抱えるURA、研究組織でのURA像を思案している経営層や研究支援者も少なくはないように感じる。

本セッションでは、上述のような目的や定義を具現化していく当事者であるURA自身がこのことをどう受けとめ、自分達が進む方向を見据えて、どのようなレベルアップが必要と認識しているか？どのようなハードルを抱えているのか？という問題について、会場参加型のディスカッションを行う。URA人材とURA人材を活用する側、さらには研究者が課題認識をひとつにすることで、これらの間に存在しているギャップを埋め、URAのミッション・存在意義を明確にし、URAの定着やモチベーションアップにつなげたい。さらに、ディスカッションではワークシートを活用した自己分析を通じて個々の置かれた環境での課題を抽出し、その課題にどう対処していくのかを議論することで、明日からの自身の活動に何らかのヒントを各自が得ることを目指す。

## オーガナイザー / 司会者



**馬場 忠** : 筑波大学 生命環境系 生命環境科学研究科  
生物機能科学専攻 教授 / 学長特別補佐  
/ URA研究戦略推進室 室長 / 主席URA

1983年筑波大学大学院農学研究科博士課程修了（農学博士）、日本大学松戸歯学部助手、筑波大学応用生物化学系講師、助教授を経て1998年より教授（生命環境系）。途中、厚生省国立予防衛生研究所協力研究員、オクラホマ医学研究所研究員、ペンシルバニア大学医学部客員教授、韓国インジェ大学特別顧問教授。筑波大学研究戦略室長、学長補佐などを歴任し、現在は学長特別補佐とURA研究戦略推進室長を兼務。

## 講演者


**山野 宏太郎** : 株式会社三菱総合研究所 科学・安全事業本部  
産業イノベーション戦略グループ 主席研究員

2004年株式会社三菱総合研究所に入社。入社後は、科学技術政策・高等教育政策に関する調査研究や国公立大学の経営・教学コンサルティングに一貫して従事。

URAに関しては、文部科学省からの委託調査（2015～2016年度）を通じて、その現状・課題や将来像についての分析・検討を担当。

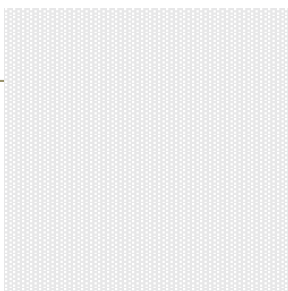

**藤井 翔太** : 大阪大学 経営企画オフィス 講師

大阪大学経営企画オフィス講師。経営企画、IRに関する業務に従事し、主にガバナンス改革、研究評価、大学ランキング分析などを担当。また、近現代イギリス・スポーツ史、主にプロ・フットボールのガバナンスに関する研究を行なっている。

2004年京都大学文学部卒業、2006年京都大学大学院文学研究科修士課程修了、2009年De Montfort University Sport History and Culture MA修了、2011年京都大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。博士（文学）。


**国土 祐未子** : 香川大学 研究戦略室  
リサーチアドミニストレーター/特命助教

自然科学系の博士研究員を経て、2013年11月に香川大学研究戦略室のリサーチアドミニストレーターとして着任。文理問わず科研費を含む様々な外部資金獲得支援や研究力の分析、外部資金動向の調査、研究戦略立案支援補佐など、大学内の研究支援関係を中心に従事。特に、申請書作成支援と分析結果の捉え方・見せ方、マネジメントに興味をもち、どのように行動すれば研究者に貢献できるか試行錯誤を繰り返しながら経験中。


**岡野 恵子** : 横浜市立大学 先端医科学研究センター URA推進室  
特任講師 (URA)

- ・2009年 UC Berkeley, Department of Environmental Science, Policy and Management 修了 Ph.D.
- ・2010年 InfiniteBio (米国) コンサルタント
- ・2011年 明治大学生産研究知財事務室で科研費申請書作成支援担当 (派遣職員として)
- ・2013年 京都大学 部局URA (特定専門業務職員)
- ・2015年 横浜市立大学 特任助教 (URA)
- ・2016年 同大学 特任講師 (URA) 現在に至る